

UMECOLAYOUT変更についてのお知らせ

令和4年4月1日から、活動エリアについて、一部を会議室に変更するほか、レイアウトや予約ルールを変更いたします。変更内容をご確認のうえ、ご予約・ご利用ください。なお、この変更は、施設の稼働状況や皆様のご意見を踏まえた上で、施設の有効活用及び利便性向上を図ることを目的としております。何卒ご理解くださいますようお願いいたします。詳細はUMECOホームページをご覧ください。<http://umeco.info/>

主な変更点

- ①活動エリアAブロック(A1、A2、A3)を会議室10、11に変更します。
- ②活動エリアB～Dブロックのレイアウトを変更します。

《新設の会議室10,11について》

3月まで	4月1日以降	
ブロック名	会議室名	1時間当たりの利用料金
A1 (定員12人)	会議室10 (定員12人)	終日：300円
A2・A3 (定員 合計24人)	会議室11 (定員24人)	17時まで：500円 17時から：610円



小田原「竹あかり」イベントへの取り組み ～竹害から竹材へ～

小田原市では、多くの耕作放棄地や荒廃した竹林が問題になっています。この荒廃竹林から伐採され、処分に困っている竹を活用することはできないかとの取り組みから、「NPO法人和の文化塾」を中心に、「おだわら環境志民ネットワーク」の会員有志が『竹あかりプロジェクト（仮）』を立ち上げました。

短く切った竹にいくつか穴をあけて模様を作り、筒の中に灯りをともし「竹灯籠」。何百という竹灯籠に一斉に灯をともし、多くの皆さんに楽しんでいただく、そんなイベントを企画構想中です。



竹灯籠

竹灯籠として使用した後は竹炭にし、段ボールコンポストの調湿・消臭・分解促進目的で利用することができます。段ボールコンポストで作られたたい肥と共に、荒廃竹林の竹が土に戻っていく、そんな循環を目指しています。

さらには、この活動を通して、地元の学生ともつながり、地域の活性化へも貢献したいと考えています。



竹炭製作の様子

パートナーシップミーティングから 生まれたつながり

2021年2月にUMECOで実施したパートナーシップミーティング「企業・NPO・学校のつながり2020 in 小田原」で、UMECO登録団体「NPO法人和の文化塾」と「美しい久野里地里山協議会」、「ウォーターランド株式会社」の三者がつながり、協働でイベントを開催しました。さらに、このつながりから「和の文化塾」が市内の環境団体等の連携・協働を支援する「おだわら環境志民ネットワーク」の団体会員になり、今回の「竹あかりプロジェクト」も発足しました。このプロジェクトにはUMECO登録団体「NPO法人小田原山盛の会」も参加しており、活動の輪はどんどん広がっています。

アクティブサロン開催

4月16日(土)17日(日)にUMECO交流エリアにて、「竹灯籠作り」や「竹筒で生け花」などの体験ができるイベント「竹細工を作って遊ぼう」を実施します。是非ご参加ください！
(共催：NPO法人 和の文化塾、NPO法人 小田原山盛の会)



市民活動団体紹介

シニアネットワークおだわら&あしがら

私たちは「生産的・創造的な活動をしながらかをとり」という意味の「プロダクティブ・エイジング」の理念に沿って、会員同士の交流と親睦を図りながら活動の機会を創り提供するため、2015年に設立しました。現在の会員数は約180名で、入会金や会費は一切なく、すべての活動は参加自由です。今回は様々な活動の中から「ミカン農園プロジェクト」を紹介します。



農家の高齢化や担い手不足などから増加している早川地区の耕作放棄されたミカン農園を再生し、シニア世代に健康保持や生きがいづくりの場として活用するため、苗木からの栽培を始めました。現在、2か所の農園で9品種約70本を月1回の作業で育てています。農園からの眺めが好きで横浜から参加する会員もいます。6年間で木も大きく育ち、一部は出荷できるまでになっています。収穫の喜びは格別です。「いい汗かいて心も体も元気」をモットーに活動しつつ、結果として地域の活性化にも役立っていると思います。

充実したシニアライフをめざして気軽に参加しませんか！

(文：代表 安藤和幸さん)



ビオトピアでの健康ハイクの様子

「もったいない」を「ありがとう」に！

UMECOでは、UMECO登録団体の「おだわら児童館連合」「たすけあい」の二団体からご提供を受け、余剰食品の無料配布を行っています(不定期)。

「食べものを大切にし、助け合う」気持ちは、日本人が持つ「もったいない」精神ともつながります。必要としている人の元に食品が届き、食品ロスを減らすための活動の輪が広がっていくよう、この活動を継続していきたいと考えています。



ご提供いただいた食品

令和4年度小田原市市民活動応援補助金 交付事業の審査結果等について

令和3年度小田原市市民活動応援補助金は、スタートアップコース2件、ステップアップコースプランA6件、プランB2件、合わせて10事業の応募があり、書類審査による第1次審査の後、3月13日(日)に公開プレゼンテーションによる第2次審査を行いました。審査結果等につきましては、小田原市及びUMECOのホームページをご覧ください。<http://umeco.info/>



Part1

2022年度連載こらむスタート！

大外郭の会 山本篤志さん

今年度はUMECO登録団体「大外郭の会」さんに、「北条五代の城をたずねる」をテーマに連載していただきます。お楽しみに！

めざせ！大河ドラマ 北条五代の城をたずねる・1「葦山城」 静岡県伊豆の国市葦山

葦山城は伊豆半島北部の標高約50mの龍城山に築かれています。狩野川の水運と三島・下田間を繋ぐ下田街道、東方には葦山城を起点に小田原、山中城までのルートがあったといわれ、源頼朝が身を寄せた蛭ヶ小島をはじめ平安時代からの史跡が多い場所です。

明応9年(1500)迄に北条早雲こと伊勢宗瑞が築城したと考えられています。宗瑞は葦山城を本拠地とし、晩年を過ごしました。永禄12年(1569)及び翌年元亀元年(1570)と武田信玄の攻撃を受けた記録が残ります。天正18年(1590)3月には約4万4千にも及ぶ軍勢が葦山城を包囲しました。対し北条氏規が約3

千6百ながら、小田原城が開城する直前6月24日まで籠城しました。

以後、徳川家康の家臣内藤信成が入りますが、慶長6年(1601)に駿府へ移封となると廃城になりました。その後は葦山代官江川家の御用用地でした。

細長い尾根上に続く連郭式の平山城の形式を取り、堀切や土塁、曲輪など遺構が良好に残っています。背後の天ヶ岳にも各所に堀切や砦群を備え、周囲には豊臣方の付城も残り、攻守双方の史跡が残る貴重な城でもあります。



葦山城本丸と続く土塁

【アクセス】伊豆箱根鉄道駿豆線 葦山駅から徒歩15分、バスまたはタクシーで5分

前田商店
山田原
列ひもの
小田原市早川2-4-3
0465-23-4741

街と暮らしをむすぶ。
LUSCA
ラスカ小田原
〒250-0011 小田原市栄町 1-1-9
TEL 0465-24-7111
<https://www.lusca.co.jp>

いすぜんめしや や お き
一膳飯屋 八起
おだわら市民交流センターUMECO隣
0465-24-5775
11:00～22:30(定休日曜日)
★お食事から宴会までご予算ご相談ください

私たちは
市民活動を
応援しています

家族葬から大型葬まで/ご法事も対応
湘和会堂小田原
家族葬式場を新設
ご安置専用個室を完備
小田原駅東口より徒歩2分
小田原市栄町 1-6-10 年中無休
365日24時間
いつでも対応 ☎0120-24-8130

minaka
ミナカ小田原
〒250-0011 神奈川県小田原市栄町1-1-15
ショップ、施設の詳しい情報はこちら！
【<https://www.minaka-odawara.jp/>】

Flower
花ふじ
0465-32-1087
<http://www.f-hanafuji.com>
小田原市多古 329